

# 中央市読書調査結果

2018年度

中央市司書会

# 目 次

1. 調査目的	1
2. 概要	1
3. 対象学年	1
4. 方 法	1
5. 調査場所	1
6. 調査結果	2
7. まとめ	19
8. 調査用紙等	20

## 1. 調査目的

近年、図書館設備をはじめ読書推進運動の社会的な高まりなどによって、子どもたちを取り巻く読書環境は整えられつつある。しかし一方で、子どもの活字離れや不読者増加など、子どもの読書状況は必ずしも好転しているとは限らない現状も報告されている。

中央市では、生涯にわたって読書に親しむまちづくりをめざして「中央市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが読書に関わる様々な機会を提供している。そのような取組の効果を検討し、課題を明確にして、子どもたちの読書環境の充実や読書意欲の向上にむけて読書活動を推進していく資料とするため、中央市司書会では本市の小中学校に通う児童および生徒の読書調査を実施することとした。

この調査は、中央市立図書館と学校図書館とが共同して行うように位置づけ、中央市司書会の研究成果として、「中央市子ども読書活動推進計画（第二次）」の評価判断の一つとする。

## 2. 概要

子どもたちが読書をすることは、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）および国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第一次）」（平成14年8月閣議決定）、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」（平成20年3月閣議決定）、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」（平成25年5月閣議決定）、に述べられているとおり、生きる力を身につけていくために不可欠なものである。

それを受けて本市では、毎日新聞社と全国学校図書館協議会が共同で毎年行っている「学校読書調査」を参考にして前身調査「中央市読書調査」（平成20年～平成24年）を行った。5年度にわたり実施してきた成果として、いくつかの課題が明らかとなり、その中で小学4年生から読書離れが進む傾向がつかめた。そこで平成25年度に質問項目を再検討し、平成26年度より「読書に関連する活動」に重点をおいての調査を開始し、今年度は5年目の実施となる。

**3. 対象学年** 市内小中学校に通う小学4年生および6年生、中学2年生

**4. 方 法**

- ①実施期間 : 6月1日（金）から6月13日（水）まで
- ②集 計 : クラスおよび学年の集計は各学校が行い、市内全体の集計は市立図書館が行う。
- ③分析・考察 : 中央市司書会が行う。

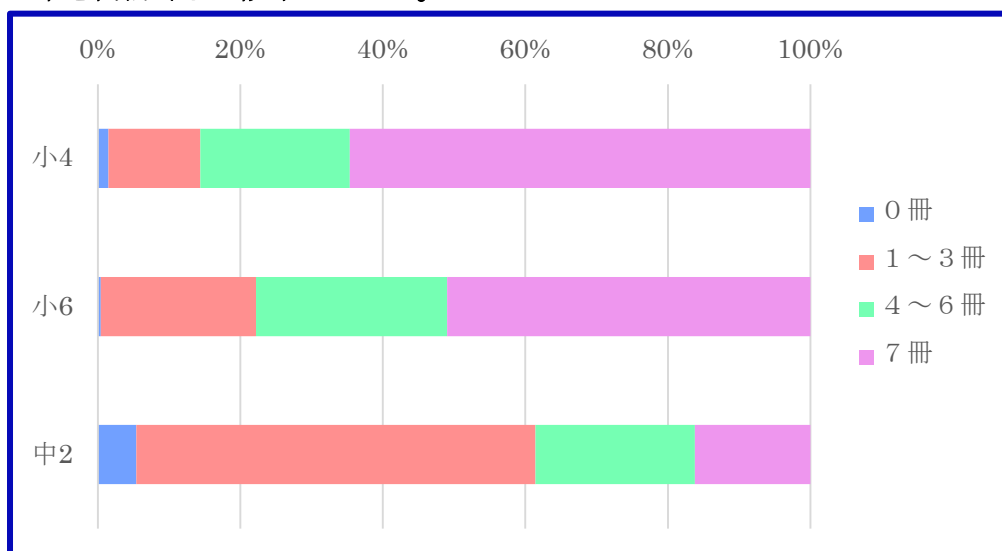
**5. 調査場所** 中央市内小中学校 各教室

## 6. 調査結果

### 《グラフについて》

\*回答者は、小学4年生・272名、小学6年生・257名、中学2年生・259名を対象としています。

問1 5月1ヶ月の読書冊数  
本を何冊ぐらい読みましたか。



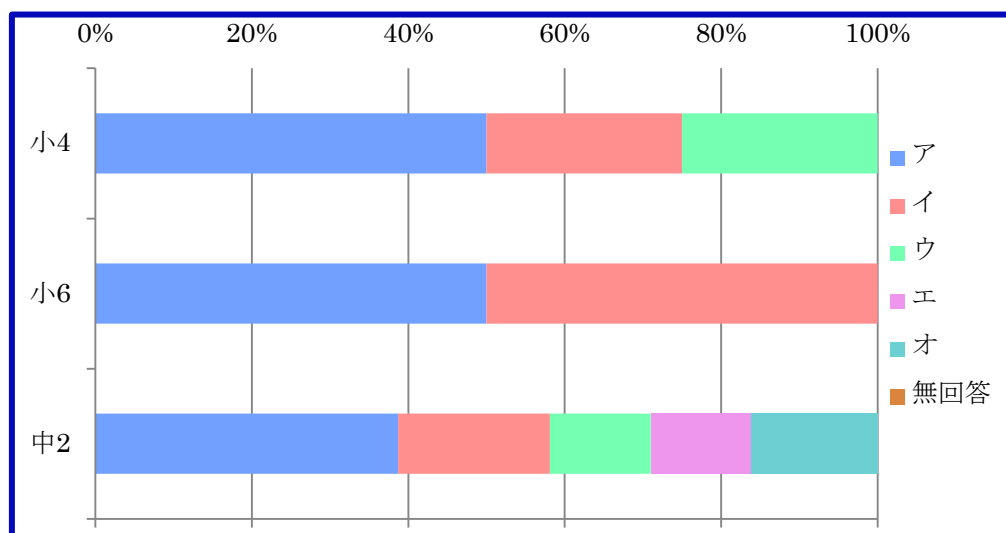
問1	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
0冊	4	1.5%	1	0.4%	14	5.4%
1~3冊	35	12.9%	56	21.8%	145	56.0%
4~6冊	57	21.0%	69	26.8%	58	22.4%
7冊以上	176	64.7%	131	51.0%	42	16.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

### ■考察

- ・ 不読者は昨年度より減少している。特に、中2の不読者は5.4%であり、昨年度の12.9%に対し半減している。
- ・ 小4と小6では「7冊以上」と答えた割合が一番多く、中2は1~3冊という回答が一番多いという毎年同様の傾向がみられる。
- 朝読書や図書的时间等の読書活動の取り組みが日常的に行われていることが読書量に良い影響を与えていると考えられる。
- 学年が上がるにつれて読書量が少なくなるのは、読む本の内容や文量が変化することや、読書時間の確保が難しくなることが要因の一つとして考えられる。
- 継続的な読書活動の活性化を図り、一人ひとりに見合ったきめ細やかな読書指導をおこなっていくことが、読書量の増加や不読者の減少につながると考えられる。

問2 読まなかった理由 (複数回答)

質問「1」で「0冊」と答えた人に質問します。



- ア 習い事や塾、スポ少(中2は部活)があるから
- イ テレビを見たりゲームをしたりするから
- ウ パソコンやスマホでインターネット等をするから
- エ 本を読むのが面倒に感じるから
- オ その他
- 無回答

	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	2	50.0%	1	50.0%	12	38.7%
イ	1	25.0%	1	50.0%	6	19.4%
ウ	1	25.0%	0	0.0%	4	12.9%
エ	0	0.0%	0	0.0%	4	12.9%
オ	0	0.0%	0	0.0%	5	16.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

<その他の回答>

【中学2年生】

- ・帰る時間が遅い

### ■考察

- ・ 不読の理由として、小4と小6が「習い事や塾、スポ少(中2は部活)があるから」、「テレビを見たりゲームをしたりするから」の回答が多い中、中2は全体的に平均的である。中2においてはインターネット等の情報機器の利用が生活の中に深く浸透し、読書に影響を与えていることが伺える。
- ・ 「本を読むのが面倒に感じるから」と答えた児童・生徒が昨年度に比べて激減しているのは、読書に対する抵抗感が少なくなり、読書が定着しつつある結果だと考えられる。
- テレビやゲーム、インターネットに費やそうとする時間を、読書に転嫁していけるような取り組みを講じることが今後の課題である。
- その他の回答には、帰宅時間が遅いとの回答もある。家庭でも読書しやすい環境を整えるように呼びかけることや個々に応じた読書指導に努めることが必要と思う。
- 幼い頃から読書の楽しさを体感できるような読書環境を、学校や地域、家庭が連携して整え、読書を習慣化していくことが大切である。

問3【小学4年生】

〈好きな本・好きなシリーズ〉

	分類9	分類0～8	
好きな本	<p>にちようびは名探偵 (2) 12歳～きみのとなり～ おさるのおいかげっこ おしりたんでいいせきからの SOS オニのすみかで大あばれ おばけのきもち オリンピックのおばけずかん 君の名は くりむパン ココロあみ→ご きみとのさんぽ道 心の森 子ねこのほほえむとき 怖い本(色のない怪談) さっちゃんのまほうの手 しあわせなら名探偵 私立エルニーニョ学園伝説 ズートピア(角川アニメ絵本) 鈴とリンのひみつレシピ! だれか私に友だちをください。 妖怪コロキューブ魔王のマシン 妖怪コロキューブ地獄のラピルス 妖怪コロキューブ死神の宿題 よみがえれ白いライオン ちびまる子ちゃん まる子学校でおなかが痛くなる ちびまる子ちゃん 小杉みんなによけいな心配をかける ドラゴンクエストエデンのせんしたち ナツカのおばけ事件簿メリーさんの電話 マジックツリーハウス26 南極のペンギン王国 笑い猫の5分間怪談12 初恋なまはげパーティー</p>	<p>世界一クラブ なみだちゃんばんざい なんでも魔女商会お洋服 リフォーム支店 八犬伝 美女と野獣 ひみつの校庭 ぼくのおふる ふしぎなもくくん フランダースの犬 ベルナのしっぽ ペンギンのクリスマス 星の王子さま 名探偵ホームズの謎解き もしかしたら名探偵 電車で行こう りんごかもしれない 悪ガキ7タイ行きタイ</p>	<p>137億年の物語 馬は友だち(マジックツリーハウス探検ガイド) 沖縄の大研究 学校心理ゲーム キリスト(学習漫画 世界の伝記) クリスティアーノ・ロナウド こども武士道 石けんのひみつ ドラえもん科学ワールド宇宙のふしぎ ドラえもんの栄養と健康 ハムスターの育て方 漫画君たちはどう生きるか</p> <p>*書名不確定 クッキング コワイ花 ちびまる子 普通の本 物語 虫の本</p>
好きなシリーズ	<p>かいけつゾロリ (15) ミルキー杉山の名探偵 (9) 一期一会 (7) マジックツリーハウス (6) ゲゲゲの鬼太郎(5) ふしぎ駄菓子屋銭天堂 (5) おしりたんでい (4) 絶望鬼ごっこ(4) 本の怪談 (4) 笑い猫の5分間怪談 (4) キャベたまたんでい (3) 新花子さんがきた!! (3) 動物と話せる少女リリアーネ (3) なんでも魔女商会 (3) ノラネコぐんだん (3) ルルとララ (3) 12歳 (2) オウマガドキ学園 (2) おばけのアッチ (2) 怪談レストラン (2) グレッグのダメ日記 (2) ダイナソー・パニック (2) ナツカのおばけ事件簿 (2) バムとケロ (2) らくたい魔女 (2) 怪盗アルセーヌ・ルパン 黒魔女さんが通る!! 子どもに語るアンデルセンのお話 ココロあみ→ご コンガらガっち デイジーのこまっちゃんまいにち</p>	<p>1% 〇〇室の日曜日 あやかし探偵団 いじめ イチゴの村のお話たち いみちえん! オオカミ少年ドルフィ ジャッキーの本 シャーロック・ホームズ 小説名探偵コナン 小説ワンピース 白魔女リんと3悪魔 ちはやふる小説版 ちびまる子ちゃん ちびまる子ちゃんの学級文庫 ちびまる子ちゃんの学級日誌 ディズニー 徳間アニメ絵本 とべないホテル 七つの大罪 ねずみくん パイレーツオブカリビアン ビックリマン漢熟霸王 ブカブカチョコレート島 へんしん ポカポカアイルー村 ぼくらのミステリータウン ムーミン 悪ガキ7</p>	<p>サバイバル (12) ドラえもん科学ワールド (8) 学研まんがひみつ (2) ギネス世界記録 (2) 名探偵コナン推理ファイル (2) うちの三姉妹 おしごと図鑑 大人にはないしょだよ くらべる図鑑 恋するシロクマ 五色百人一首であそぼう ジュニア空想科学読本 シートン動物記 ドラえもん社会ワールド なぜ?どうして?科学のお話 日本の歴史 ハムスターの研究レポート ピーナッツ エッセンス まめゴマ 名探偵コナン理科ファイル</p>

【小学6年生】

〈好きな本・好きなシリーズ〉

	分類9	分類0～8	
好きな本	赤い本 あの日ブルームーンに。 アラジン エヴァンゲリオン エブロンひめ おばけ、さがさないでください オバケだっとかぜをひく 外套 神様に一番近い動物 からすのパンやさん ガン消滅の罫 麒麟の翼 心の森 怖い本 サッカーボーイズ 白い本 だめといわれてひっこむな ダルシーの幸せのケーキ かいけつゾロリぜったいぜつめい きっと明日は 雪子、二十年の闘病記 天国の犬ものがたり～ありがとう～ 忍者サノスケじいさんわくわく旅日記 名探偵コナン ～ゼロの執行人～ 名探偵コナン11人目のストライカー	二日月 へちまのへーたろー ぼくが消えないうちに ぼくらの七日間戦争 ほっぺん先生の動物事典 魔法にかけられて めいちゃんの500円玉 モアナと伝説の海 らくたい魔女とランドールの騎士 りこうなおきさき りんごかもしれない わかったさんのクレープ わたしは忘れない 七不思議レストラン ひみつのたからものの巻 呪う本 火打箱	さんねんないきもの事典 (3) 20世紀少年 あるかしら書店 一休(おもしろくてやくにたつ子どもの伝記) ガムってすごい(学研まんがひみつ) 華麗なるスラッガー高橋由伸 恐怖都市伝説 コロンブス 育てて遊ぼうスイカの絵本 チワワの教科書 ハムスター(ペット119ぼん) ハムスターのひみつ 水木しげる妖怪大図解 (2) 焼き菓子&チョコ  *書名不確定  名探偵

5分後に意外な結末 (10)  
 小説名探偵コナン (7)  
 いちごの村のお話たち (4)  
 ちびまる子ちゃん (4)  
 名探偵 (4)  
 一期一会 (3)  
 おしりたんてい (3)  
 キャプテンつばさ (3)  
 キョウレツ科学者フラニー (3)  
 くまのパディントン (3)  
 グレックのダメ日記 (3)  
 マジックツリーハウス (3)  
 らくだい魔女 (3)  
 かいけつゾロリ (2)  
 黒魔女さんが通る (2)  
 ゲゲゲの鬼太郎 (2)  
 ディズニーの神様が教えてくれたこと (2)  
 動物と話せる少女リリアーネ (2)  
 ヒックとドラゴン (2)  
 ブンダバー (2)  
 マルガリータ (2)  
 ルルとララ (2)  
 1%  
 12歳  
 10歳までに読みたい世界名作  
 Orange  
 アルセーヌ・ルパン  
 暗号クラブ  
 異世界はスマートフォンとともに  
 オウマガドキ学園  
 風の陰陽師  
 ガフールの勇者  
 黒子のバスケ  
 こまったさん  
 サバイバルレース  
 シャーロック・ホームズ  
 小説ワンピース  
 新・花子さんがきた！  
 ズッコケ三人組  
 戦国姫  
 ダイナソー・パニック  
 ダレン・シヤン  
 男子弁当部  
 通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃のお母さんは好きですか？  
 とあるマジツツの禁書目録  
 刀剣乱舞  
 徳間アニメ絵本  
 ドラゴンクエスト  
 南総里見八犬伝  
 のろこメ(俺の脳内選択肢が、学園ラブコメを全力で邪魔している)  
 パムとケロ  
 ハリー・ポッター  
 フェアリー・ガールズ  
 ふしぎ駄菓子屋銭天堂  
 本の怪談  
 昔話法廷  
 ムジナ探偵  
 モンスターホテル  
 山田県立山田小学校  
 ラストで君は「まさか」と言う  
 レイトン教授  
 わかったさん  
 若おかみは小学生  
 笑い猫の5分間怪談

ジュニア空想科学読本 (7)  
 サバイバル (6)  
 学研まんがひみつ (3)  
 トリビアの泉 (2)  
 アトム人物ポケット図鑑  
 兄に愛されすぎてこまってます  
 犬の本  
 おもしろくてやくにたつ子どもの伝記  
 コロコロ(まんが)  
 スポーツの本  
 鉄道大集合1922点  
 トリックアートアドベンチャー  
 ドラえもん科学ワールド  
 ドラえもん社会ワールド  
 日本の歴史  
 バカとテストと召喚獣  
 鋼の錬金術師  
 ハニーレモンソーダ  
 宝石の国

\*書名不確定

伝記 (2)



【中学2年生】

〈好きな作家〉

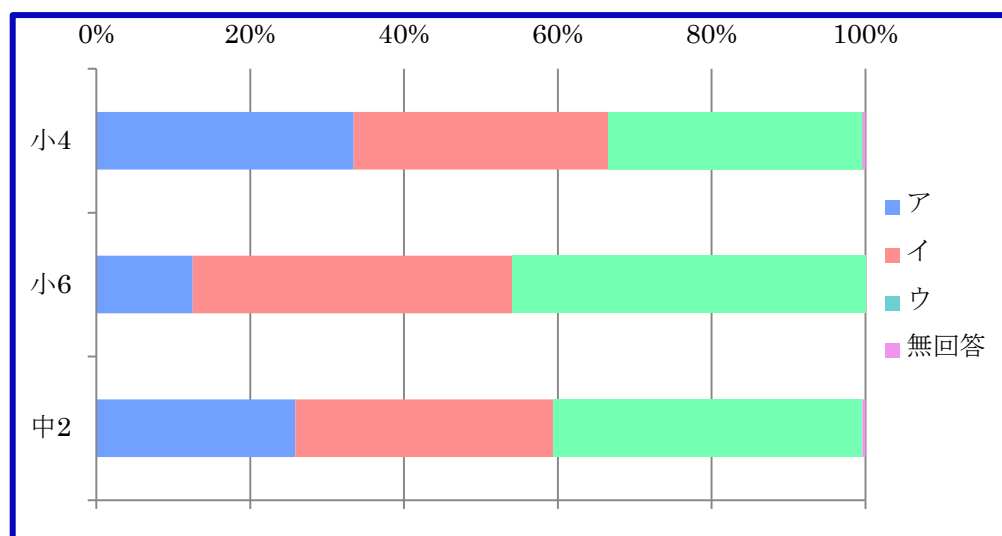
好きな作家	住野よる (6)	いしかわえみ	夏目漱石
	手塚治虫 (5)	いとうせいこう	西尾維新
	暁 なつめ (4)	大崎知仁	にしのみあきひろ
	有川 浩 (3)	岡本 聡	西本紘奈
	ジェフ・キニー (3)	小川 糸	二宮敦人
	太宰 治 (3)	恩田 陸神永 学	初野 晴
	はらだみずき (3)	河原和音	東川篤哉
	沖田 円 (2)	川原 礫	ひこ田中
	鎌田 洋 (2)	貴志祐介	左巻健男
	汐見夏衛 (2)	桑畑絹子	福山桜子
	J. K. ローリング (2)	香坂茉里	藤谷燈子
	新海 誠 (2)	河野 裕	藤丸
	宗田 理 (2)	小竹正人	藤本ひとみ
	夏川草介 (2)	コナン=ドイル	増田こうすけ
	七月隆文 (2)	小林美雪	マチゲリータ
	はやみねかおる (2)	今野 敏	満田拓也
	東野圭吾 (2)	咲坂伊織	三秋 隼
	廣嶋玲子 (2)	サン=テグジュペリ	緑川聖司
	星 新一 (2)	時雨沢恵一	宮西達也
	湊 かなえ (2)	重松 清	目黒哲也
	吉野万里子(2)	白鳥士郎	桃栗みかん
	INA	深海ゆずは	八束澄子
	HoneyWorks	鈴木 央	柳田理科雄
	あいだいろ	スズム	山口幸三郎
	芥川龍之介	谷川 流	山田悠介
	朝井リョウ	辻 秀一	山本紀夫
	朝霧 蘭	辻村深月	雪丸もえ
	あさのあつこ	藤間 麗	吉田恵里香
	麻沢 奏	鳥山 明	吉野源三郎
	池井戸 潤	中澤宗幸	レオ・レオニー
伊坂幸太郎	中村 航		
諫山 創	中村まさみ		

〈好きな本・好きなシリーズ〉

	分類9	分類0～8	
好きな本	5分後に意外な結末 (6) ハニーワークス (3) 青空エール (2) アオハライド (2) カゲロウデイズ (2) 君の臓腑をたべたい (2) キャプテン (2) ソードアート・オンライン (2) DAYS Orange オレンジ映画ハライズ OVER DRIVE 青い鳥 あまからすっぱい物語 かがみの孤城 君のいない世界 下剋上受験 今昔物語集 サイコパス 進撃の巨人 たったひとつの君との約束 ワンピース 俺の妹がこんなに可愛いわけがない 小説 心が叫びたがってるんだ。 動物と話せる少女リリアーネ	人狼ゲーム スラムダンク ダイヤのA ちはやふる デート・ア・ライブ ドアD パセリ伝説 花のち晴れ 左手一本のシュート ひるなかの流星 僕は明日、きみの心を叫ぶ。 僕たちのサイテーな夏休み 僕のヒーローアカデミア 本をめぐる物語 モナミは世界を終わらせる モモ ムーミン童話全集	学年ビリのギャルが1年間で偏差値44上げて 慶応大学に現役合格した話 スラムダンクの勝利学 S・セキルバーグの関暁夫の そうだったのか！池上彰の学べるニュース 都市伝説
好きなシリーズ	NHKオトナヘノベル 5分で読める！ひと駅シリーズ 5分間シリーズ 王様ゲーム 角川つばさ文庫 黒子のバスケ 獣の奏者 ダンジョンに会いを求めるのは間違っているだろうか 野いちご文庫 走れ！T校バスケットボール部 ふしぎ駄菓子屋銭天堂 名探偵コナン	空想科学読本 サバイバル さんねんないきもの事典	

#### 問4 読書に関連する行動

(1) 授業以外で学校図書館を利用しますか。



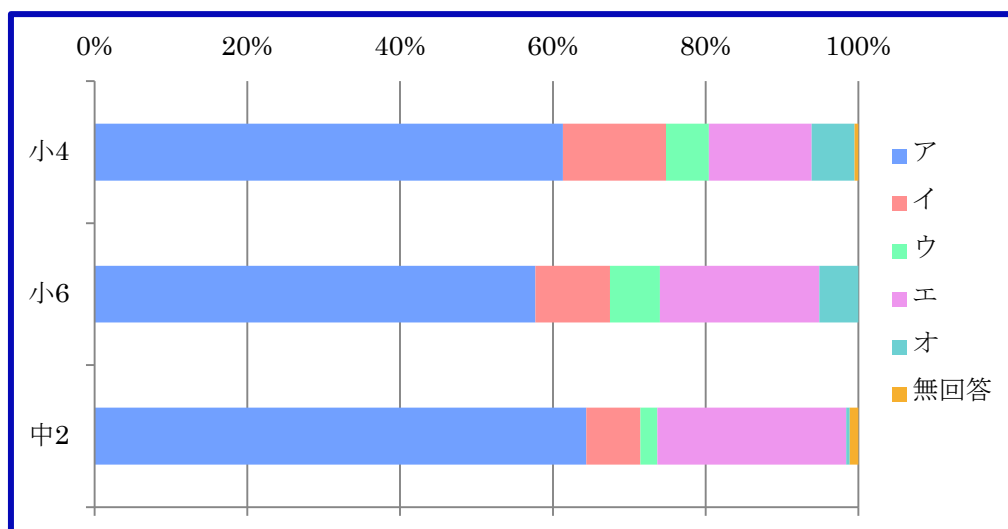
ア よく利用する  
 イ ときどき利用する  
 ウ ほとんど利用しない  
 無回答

問4(1)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	91	33.5%	32	12.5%	67	25.9%
イ	90	33.1%	107	41.6%	87	33.6%
ウ	90	33.1%	118	45.9%	104	40.2%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	1	0.4%

#### ■考察

- ・ 全体的に「ほとんど利用しない」の割合が一番多いが、「よく利用する」「ときどき利用する」を合わせた回答は、半数以上の割合である。
  - ・ 小4では各項目の回答の割合は同じくらいであるが、小6では「よく利用する」の割合が減少している。
- 子どもたちが図書館をさらに利用するために、休み時間、放課後にも学校図書館に行きたくなるような魅力的な取り組みを考えていく必要がある。また、図書館の利用の意義を、より一層指導し、図書館利用を習慣化していくことが重要と考えられる。
- 学校図書館は、児童・生徒の読書センターであり、学習センターであり、また、情報センターとしての機能を担い、あらゆる学校教育活動の中核となることを期待されている。学校図書館が児童・生徒にとって身近な存在となるためには、児童・生徒のニーズに適応した蔵書を構成していくとともに、図書館の有用性を積極的にアピールしていく必要がある。

(2) 学校図書館を利用する目的は何ですか。(複数回答)  
質問「4 (1)」で「ア・イ」と答えた人に質問します。



ア 本を読んだり、借りたりするため

イ 調べものをするため

ウ 勉強したり、教え合ったりするため

エ 友だちと情報交換(中2は会話も含む)をしたり、  
気分転換をしたりするため

オ その他

無回答

問4(2)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	132	61.4%	124	57.7%	117	64.3%
イ	29	13.5%	21	9.8%	13	7.1%
ウ	12	5.6%	14	6.5%	4	2.2%
エ	29	13.5%	45	20.9%	45	24.7%
オ	12	5.6%	11	5.1%	1	0.5%
無回答	1	0.5%	0	0.0%	2	1.1%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・本を読んでいると楽しい (2) ・いろいろな本を借りたいから
- ・本を読んでいると気持ちが落ち着くから ・読書が好きだから (4)
- ・お友だちにすすめたい・読むだけ

【小学6年生】

- ・本を読み、心を落ち着かせるため ・いろいろな本を読むため (4)
- ・おもしろい、楽しいから (2)
- ・知らないことが分かるから (1) ・期限内に返しに行くため (1) ・ヒマつぶし (2)

【中学2年生】

- ・落ち着くから

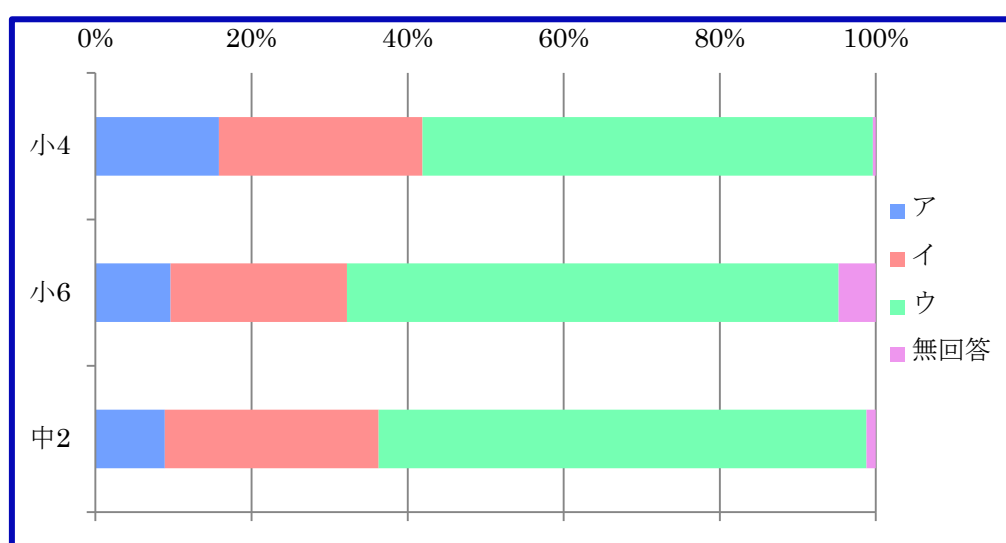
## ■考察

- ・ 学年が上がるにつれて、「調べものをするため」の回答が減り、「友だちと情報交換 (中2は会話も含む) をしたり、気分転換をしたりするため」の回答が増えている。また、その他の中の回答に、どの学年にも「心が落ち着くから」との回答がある。学校図書館が本の貸し借りや読書の場としてだけでなく、情報交流の場や心を癒す場にもなっていることがわかる。

- ・ 全学年を通して、「本を読んだり、借りたりするため」と回答した割合が高い。「調べものをするため」の回答については、学年が上がるほど割合が減り、「情報交換」「気分転換」との回答については、学年が上がるほど増えている。

- 子どもたちのニーズに対応した図書資料の充実はもちろん大切だが、友だちとの会話や気分転換が気軽にできるような親しみやすく、落ち着けるような環境作りも大切であると考えられる。
- 会話や気分転換目的で来館している児童・生徒を、上手く読書へと導けば読書の普及ができるのではないかと考えられる。

### (3) 学校の見学以外で公共図書館を利用しますか。



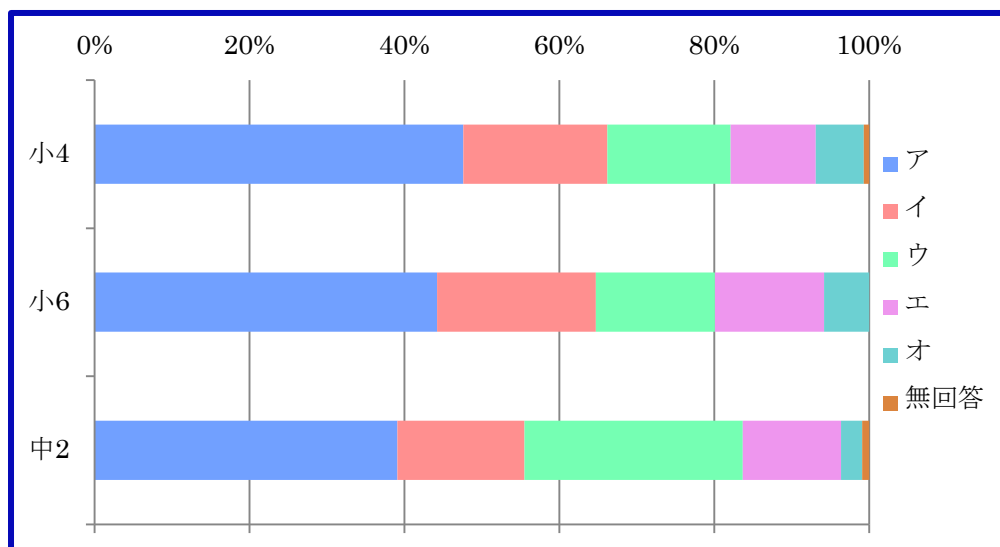
- ア よく利用する
- イ ときどき利用する
- ウ ほとんど利用しない
- 無回答

問4(3)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	43	15.8%	26	10.1%	23	8.9%
イ	71	26.1%	61	23.7%	71	27.4%
ウ	157	57.7%	170	66.1%	162	62.5%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	3	1.2%

#### ■考察

- ・ 公共図書館を「ほとんど利用しない」と回答した児童・生徒は6割にものぼり、学校図書館の3割を上回っている。公共図書館の利用頻度が低いことが伺える。
  - ・ 「よく利用する」と回答している割合が、学年が上がるにつれて減っている。
- 小学生は、地理的に遠いと「行きたくても行けない」場合も考えられる。よって、保護者を巻き込んだ利用を促す必要があると考えられる。
- 公共図書館は、生涯学習の場でもあるので、学校図書館と公共図書館が連携しながら、児童・生徒に公共図書館の利用意義を伝えていく必要もあると考えられる。

- (4) 公共図書館を利用する目的は何ですか。(複数回答)  
 質問「4(3)」で「ア・イ」と答えた人に質問します。



- ア 本を読んだり、借りたりするため
- イ 調べものをするため
- ウ 勉強したり、教え合ったりするため
- エ 友だちと情報交換(中2は会話も含む)をしたり、気分転換をしたりするため
- オ その他
- 無回答

問4(4)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	69	47.5%	69	44.2%	43	39.1%
イ	27	18.6%	32	20.5%	18	16.4%
ウ	23	15.9%	24	15.4%	31	28.2%
エ	16	11.0%	22	14.1%	14	12.7%
オ	9	6.2%	9	5.8%	3	2.7%
無回答	1	0.7%	0	0.0%	1	0.9%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・いろいろな本を読みたいから (2) ・DVDやビデオを見る ・ファミリー読書をするため

【小学6年生】

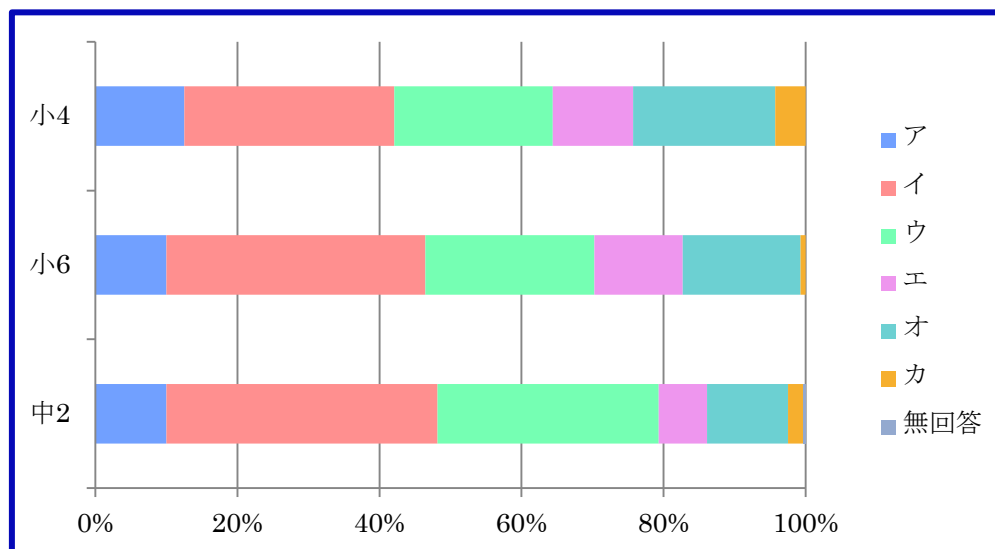
- ・自分にあった本をさがすため ・時々イベントがあるから ・面白い本があるから (3)
- ・家族読書のため ・ひまつぶし (2) ・理由は特にない
- ・学校に置いてない本がある ・読みたくなるような本を探すため
- ・東京から来る劇団のお話を見に行くため

■考察

- ・ 全学年を通し、「勉強したり、教え合ったりするため」が学校図書館の利用目的に比べ割合が多く、「本を読んだり借りたりする」割合が学校図書館の利用目的に比べて減っている。学校図書館と公共図書館を利用目的に合わせて使い分けている様子が伺える。
- 公共図書館は学校図書館より図書資料だけでなく視聴覚資料も数多く、さらに充実した読書や調べる活動が可能である。また、家族や学校以外の友だちと一緒に利用することができるので、コミュニケーションの場にもなっている。このような学校図書館とは違った利点を、児童・生徒にアピールしていくことで公共図書館の利用促進につながると考えられる。

- 公共図書館と学校図書館とでは、利用目的が多少異なることから、資料の充実を図るとともに、レファレンスの支援をいかにしていくかが課題である。

(5) 本に関することで良くすることは何ですか。(複数回答)



問4(5)	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア 友だちと本の貸し借りをする	43	12.5%	43	10.0%	37	10.0%
イ 本屋さんに行く	102	29.6%	156	36.4%	141	38.2%
ウ テレビや映画で話題になった本を読む	77	22.3%	102	23.8%	115	31.2%
エ 国語の教科書に出てくる本を読む	39	11.3%	53	12.4%	25	6.8%
オ 友だちと本の話をしたり、おすすめの本を教えあったりする	69	20.0%	71	16.6%	42	11.4%
カ その他	15	4.3%	3	0.7%	8	2.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%

<その他の回答>

【小学4年生】

- ・好きな本を読む (2) ・本の名言を移す ・自主学習の調べ学習をする ・パソコンを見る
- ・何もしていない (4) ・ひまつぶし

【小学6年生】

- ・好きな本を読む (3) ・TSUTAYAに借りに行く
- ・色々な言葉を知ることができるから ・家にある色々な本を読む ・特になし (4人)

【中学2年生】

- ・何もしない (3人)

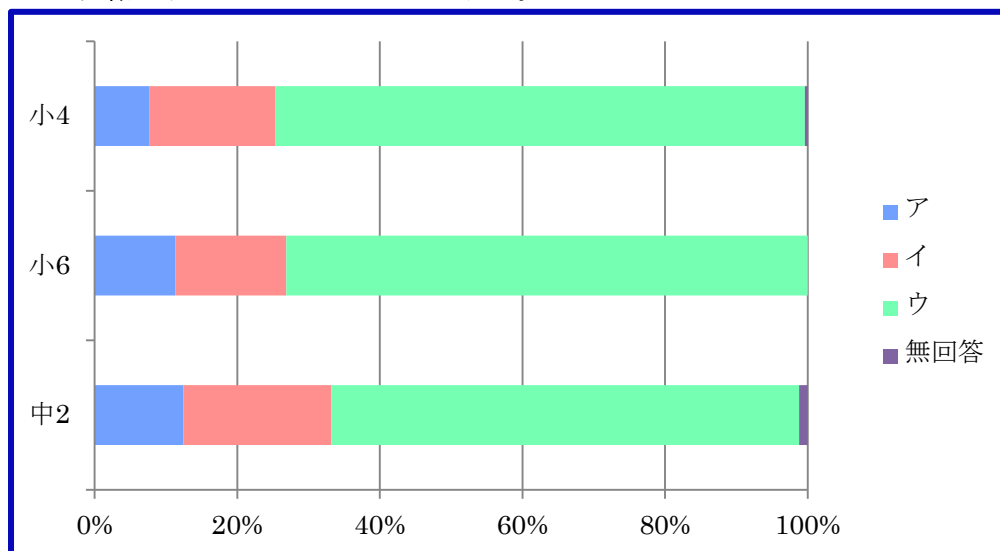
■考察

- ・ 「友だちと本の貸し借りをする」「友だちと本の話をしたり、おすすめの本を教えあったりする」と回答した児童・生徒が2～3割程度おり、本や、読書を通して友だちとの情報交換やコミュニケーションが盛んに行われていることが分かった。
- ・ 全学年を通して、「本屋さんに行く」と回答している割合が最も多く、次いで、「テレ

ビヤ映画で話題になった本を読む」が多い。ともに学年が上がるにしたがって割合が増えており、書店やメディアからの情報を多く得ていることが伺える。

- 学校以外での読書事情の把握は難しいが、学校図書館、公共図書館とも、児童・生徒の選ぶ本の情報収集に努めながら、図書館からも積極的に本の情報を発信していく必要がある。

### 問5 電子書籍を利用したことがありますか。



問5	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア よく利用する	21	7.7%	29	11.3%	32	12.4%
イ ときどき利用する	48	17.6%	40	15.6%	54	20.8%
ウ 利用したことがない	202	74.3%	188	73.2%	170	65.6%
無回答	1	0.4%	0	0.0%	3	1.2%

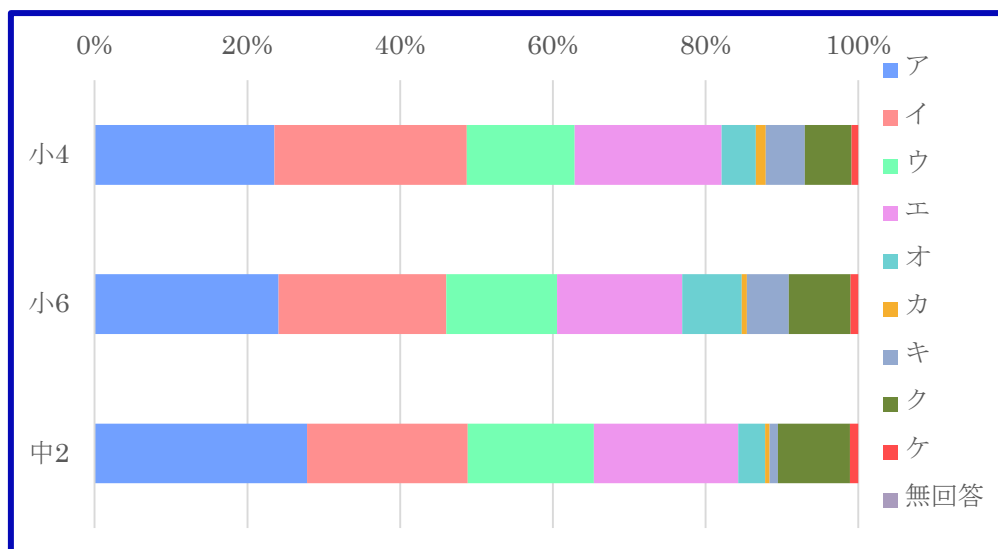
### ■考察

- ・ どの学年も「利用したことがない」が半数以上いる。
- ・ スマートフォン、パソコンなどに触れる機会は多くなってきていると考えられ、学年が上がるに従い電子書籍などを利用したことがある児童・生徒の割合が増加している。
- ・ 「利用したことがある」と回答している割合は、小4と小6が2割、中2が3割ほどで、昨年度より少しずつだが利用が増えている。最近では手軽にパソコンやスマートフォンなどを利用することができ、今後も電子書籍に触れる機会は増えていくと考えられる。
- 電子書籍のメリット・デメリットを把握して、電子書籍と書籍それぞれの特性を生かした利用指導をしていく必要がある。



## 問6 読書後の行動（複数回答）

この1年間で、本を読んで次のようなことをしたことがありますか。



- ア その本のシリーズや続編を読んだ
- イ 同じ種類の本を読んだ
- ウ 同じ作者の本を読んだ
- エ 読みたくなった本を図書館や本屋に探しに行った
- オ その本について感想や絵を書いた
- カ 作者や出版社に手紙を書いた
- キ 読書の記録として、本の名前や作者の名前を書いた
- ク 友だちや家の人と本について話し合った
- ケ その他
- 無回答

問6	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	157	23.5%	194	24.1%	175	27.8%
イ	168	25.2%	177	22.0%	132	21.0%
ウ	94	14.1%	117	14.5%	104	16.5%
エ	128	19.2%	132	16.4%	119	18.9%
オ	30	4.5%	63	7.8%	22	3.5%
カ	9	1.3%	6	0.7%	4	0.6%
キ	34	5.1%	44	5.5%	7	1.1%
ク	41	6.1%	65	8.1%	59	9.4%
ケ	6	0.9%	8	1.0%	7	1.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

### <その他の回答>

#### 【小学4年生】

- ・何もしていない（4）・読書する時間を作った・いつもより厚い本を読むようになった

#### 【小学6年生】

- ・キャラクターグッズを買った（4）・同じ出版社の本を読んだ（2）・同じ文庫の本を読む
- ・本に出てくる気に入った行動をまねしてみた・その本を参考にしながら小説を書いた

#### 【中学2年生】

- ・何もしていない（4人）

### ■考察

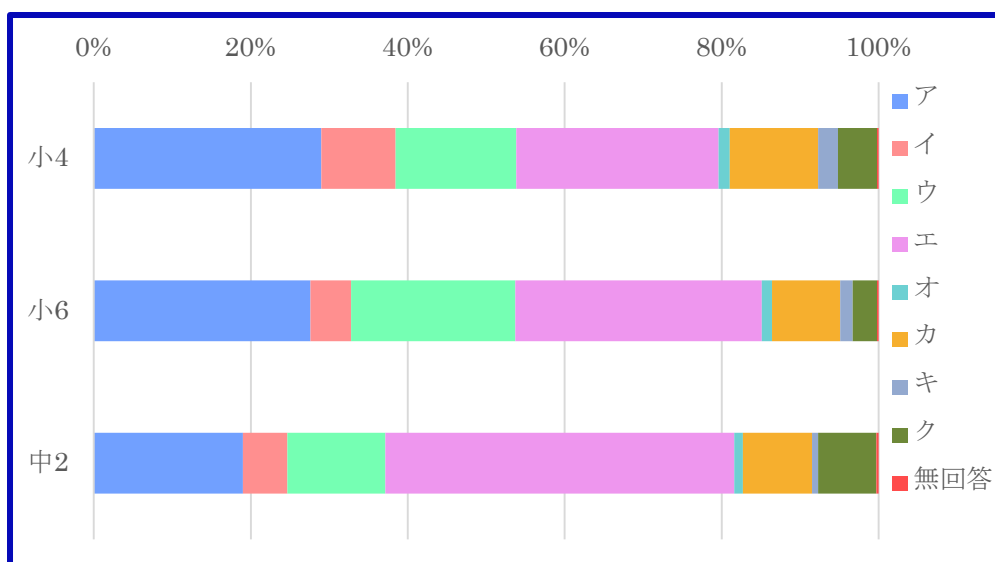
- ・ 1冊の本を読んだ後、「その本のシリーズや続編を読んだ」、「同じ種類の本を読んだ」、「同じ作者の本を読んだ」と回答している割合を合わせると5割以上も占めている。

読んだ本と関係する他の本に読書が広がっている様子が伺える。

- ・ 「読みたくなった本を図書館や本屋に探しに行った」と回答する児童・生徒も多く、読書に対する積極的な行動が伺える。
  - ・ 読書の記録として、本の名前や作者の名前を書いたと答える児童・生徒は少ない。
  - ・ すべての項に回答があり、さまざまな読後の行動をしていることが明らかになった。
- 子どもたちが読んだ本や興味を持った本を手掛かりに、さまざまなジャンルの本や作者へと読書の幅を広げていけるよう、また子どもたちがよりよい本との出会いができるよう情報提供や読書指導をおこなっていくことが大切だと考えられる。
- 市立図書館では読書手帳の配布をしているので、読書記録をつける利点、意味など説明する機会を設け、今後の様子も見ていきたい。

### 問7 読書に関連する人的環境（複数回答）

本についてよく話をするのは誰ですか。



ア 父・母

イ 祖父・祖母

ウ 兄弟姉妹

エ 友だち

オ 担任(中2は国語の先生も含む)の先生

カ 図書館の先生

キ 公共図書館の司書

ク その他

無回答

問7	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	128	29.0%	123	27.6%	67	19.0%
イ	40	9.5%	23	5.2%	20	5.7%
ウ	68	15.4%	93	20.9%	44	12.5%
エ	114	25.8%	140	31.4%	157	44.5%
オ	6	1.4%	6	1.3%	4	1.1%
カ	50	11.3%	39	8.7%	31	8.8%
キ	11	2.5%	7	1.6%	3	0.8%
ク	22	5.0%	14	3.1%	26	7.4%
無回答	1	0.2%	1	0.2%	1	0.3%

〈その他の回答〉

【小学4年生】

・いとこ（7） ・おばさん（2） ・誰とも話していない（8） ・あまり読まない

【小学6年生】

・本の作者 ・親せき・いとこ（1）・誰とも話していない（10）  
・家族・あまり話さないが、その本について考える・インターネットの知らない人

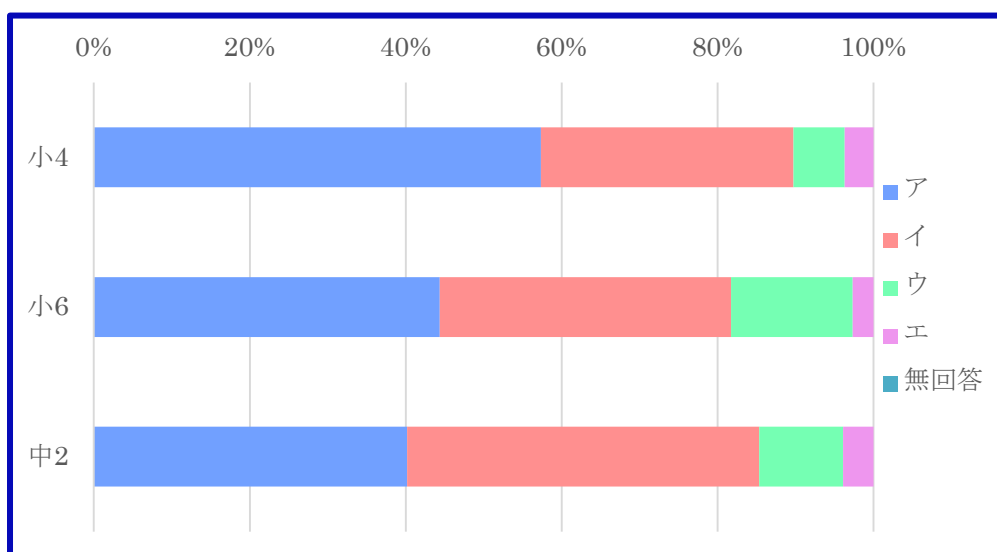
【中学2年生】

・特にいない（18人（うち「家族全員が本を好きでない」1人）

## ■考察

- ・ 「父・母」、「兄弟姉妹」など家族と話す割合が多いことから、家庭においても本を中心としたコミュニケーションが盛んに行われていることが伺える。
- ・ 小4は「父・母」が一番多く、次いで「友だち」となっているが、小6と中2は「友だち」が一番多く、次いで「父・母」となっている。
- ・ 学年が上がるにつれて「友だち」と回答する児童・生徒が増えており、「友だち」間での情報交換が盛んであることが分かる。
- ・ その他の回答には、「誰とも話さない」児童・生徒やインターネットで知り合った人に話すという回答もあり、SNSが普及した現代ならではの回答である。
- 読書活動の活性化には小さいころから家庭での読書習慣や読書環境を整えていくことが大切だと思う。「家読」の実施など、家族を巻き込んだ読書活動を学校図書館・公共図書館共に積極的に働きかけていく必要がある。
- 友だちの影響も大きいので、児童・生徒の多様なニーズや興味関心に応えられる図書館づくりに力を入れていく必要がある。また、友だち間のコミュニケーション、情報交換において、読書活動の普及、活性化につながるような工夫ができるのではないかと考えられる。

問8 読書に対する意識  
本を読むのは好きですか。



ア 好き  
イ どちらかという好き  
ウ どちらかという嫌い  
エ 嫌い  
無回答

問8	小4		小6		中2	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
ア	156	57.4%	114	44.4%	104	40.2%
イ	88	32.4%	96	37.4%	117	45.2%
ウ	18	6.6%	40	15.6%	28	10.8%
エ	10	3.7%	7	2.7%	10	3.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■考察

・どの学年も「好き」「どちらかという好き」の回答が8割以上を占めている。  
「どちらかという嫌い」「嫌い」と回答している児童・生徒に対し、読書嫌いになってしまう原因を探ったり、学校図書館と公共図書館が連携して読書の楽しさを伝え、読書に対する抵抗感をなくしていくことが必要である。今後、読書好きな児童・生徒を増やしていくためには、一人ひとりの子どもの特性や興味関心を把握し、実態に合ったきめ細やかな指導を心掛けていくことが課題である。

## 7. まとめ

この調査により、市内の小中学生の読書環境や読書状況等の実態を改めて把握できたことは、中央市司書会として読書活動の一つとなった。

調査項目については平成25年度の検討を受け、さらに改善後の1回目で明らかとなった一部の修正箇所を訂正しての5回目の実施である。今回の調査を試みる中で見えてきた課題の解決のため、学校図書館、公共図書館だけでなく、家庭や地域とも連携の輪を広げ、日常的に本を手に取り読書していけるような読書環境づくりや、読書習慣を養っていくことが必要である。学校ごとの分析結果については学校内での読書活動推進に役立てていきたい。また学校図書館と公共図書館が連携して、地域における子ども読書推進の一翼を担いたいと考えている。

この「中央市読書調査結果」は、次回策定する「中央市子ども読書活動推進計画」に反映させる。

## 8. 調査用紙等

- 「学校読書調査」 調査用紙
- 「学校読書調査」 集計用紙